

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所施設整備経費			担当部局庁	国立感染症研究所			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課			猪股 研次	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①国立感染症研究所戸山庁舎及び村山庁舎の老朽化が顕著な設備を最新の設備に更新し、研究所の適正かつ効果的な運営を確保するもの。 ②国立感染症研究所村山庁舎内入り口付近における道路を整備し、災害・事故が起きた際、消防や救急等の緊急車両による活動が迅速に行えるよう災害・事故対策の強化を図るもの。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①国立感染症研究所戸山庁舎及び村山庁舎において、老朽化が顕著な設備を最新の設備に更新するもの。 ②国立感染症研究所村山庁舎内における入り口付近道路を整備し、災害・事故が起きた際、消防や救急等の緊急車両による活動が迅速に行えるよう、道路の舗装面を新しいアスファルト舗装に張り替え整地するもの。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	412		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	412		
	執行額		-	-	-	-			
執行率(%)		-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	予算額に対する執行額	X 執行額/Y 予算額	成果実績	百万円	-	-	-	-	-
			目標値	百万円	-	-	-	-	412
			達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	国立感染症研究所が施工した施設整備の完了		活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	10	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/工事完了件数		単位当たりコスト	円	-	-	-		
			計算式	X/Y	-	-	-	412/10	
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	施設施工旅費	-	3						
	施設施工庁費	-	19						
	施設整備費	-	390						
計	0	412							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標年度 29年度	
		国立感染症研究所における研究課題評価(毎年度実施)において3.5点以上の獲得を目指す。				実績値	点	4.4	4	集計中		
						目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	国立感染症研究所戸山庁舎及び村山庁舎における施設整備を行うことで、研究業務の安全かつ円滑な実施に資するもの。											
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-			
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	国立感染症研究所の設備及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策の強化を図ることは国民や社会の要求に即しており国費の投入が必要。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	国立感染症研究所の設備及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策の強化を図ることは国民や社会の要求に即しており国費の投入が必要。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					-						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					-						
	競争性のない随意契約となったものはないか。					-						
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					-						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					-						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					-						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-						
	所管府省・部局名		事業番号		事業名							
点検・改善結果	点検結果	-										
	改善の方向性	-										

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

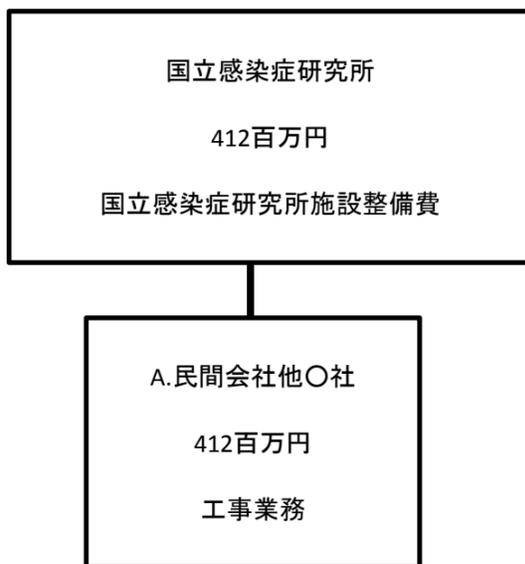
-

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

